

汚水処理方法

1 沈砂池

下水管を通して流入した下水は沈砂池でゆるやかに流し土砂とゴミを除き、その下水をポンプで汲みあげて最初沈殿池へ送ります。

2 最初沈殿池

この池で流入水を2時間ほどかけてゆっくり流します。すると汚泥などの固形物は沈殿し、汚水は次のエアレーションタンクへ行きます。沈んだ汚泥はかき集められて汚泥濃縮タンクへ送られます。

3 エアレーションタンク

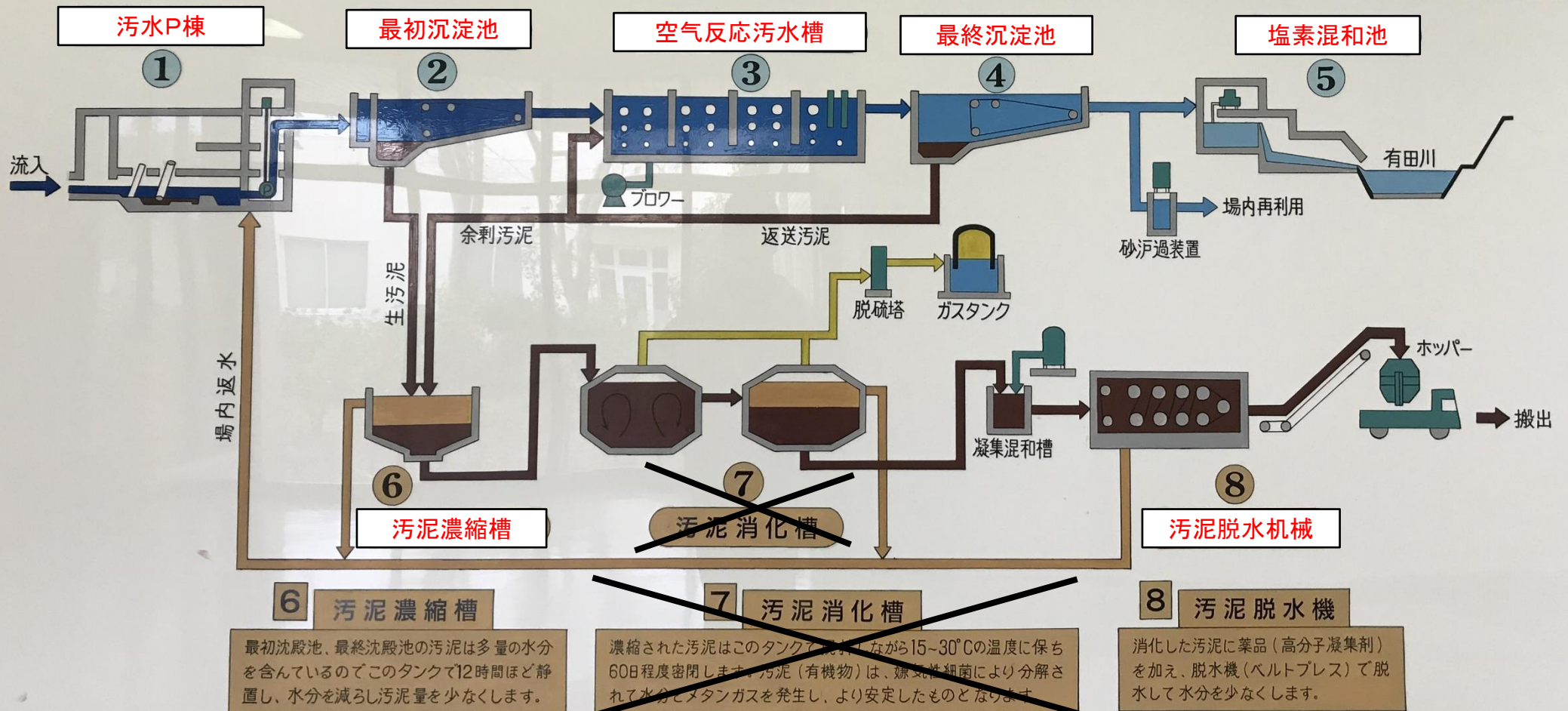
汚水に好気性微生物を多量に含んだ活性汚泥を加え、空気を吹きこんでかきまぜます。すると汚水の「よごれ」は微生物の栄養源となって取り除かれ、大量に繁殖した微生物と浮遊物の粒子が吸着して凝集し沈みやすい汚泥となります。

4 最終沈殿池

沈みやすくなった汚泥は3時間ぐらいかかって底に沈みます。きれいになったうわ水は塩素混和池へ送られます。沈んだ活性汚泥は、一部がエアレーションタンクへ戻り（返送汚泥）再び、下水を浄化するために使われ残りは（余剰汚泥）汚泥濃縮タンクへ送られます。

5 塩素混和池

最終沈殿池から送られてきたうわ水には、まだ大腸菌などのばい菌が含まれているのでこの池で塩素を注入して殺菌消毒してから放流されます。



場内返水

生汚泥

余剰汚泥

返送汚泥

場内再利用

砂ろ過装置

脱硫塔

ガスタンク

凝集混和槽

ホッパー

搬出